

履歴・研究業績（2023.3現在）

氏名： 矢澤 励太
所属： 社会学科
専門分野： キリスト教神学
研究・指導分野： キリスト教神学
担当科目

<本学において>

基礎ゼミ、プロゼミ、専門ゼミ、キリスト教人間論、人間の探究

<他大学において>

なし

学歴（大学入学時より記載）

1995年4月	国際基督教大学	教養学部	人文科学科	入学
1999年3月	国際基督教大学	教養学部	人文科学科	卒業（教養学士、B.A.）
1999年4月	東京神学大学	神学部	神学科	3年次編入学
2001年3月	東京神学大学	神学部	神学科	卒業（神学士、B.D.）
2001年4月	東京神学大学	大学院	神学研究科修士（前期博士）課程	入学
2003年3月	東京神学大学	大学院	神学研究科修士（前期博士）課程	修了（神学修士、M. Div.）
2003年4月	東京神学大学	大学院	神学研究科博士課程	入学
2006年3月	東京神学大学	大学院	神学研究科博士課程	単位取得退学
2006年9月	カルヴィン神学校（米国ミシガン州）	大学院	神学修士課程	入学
2008年5月	カルヴィン神学校	大学院	神学修士課程	修了（神学修士、Th. M.）
2008年9月	カルヴィン神学校	大学院	博士課程	入学
2013年5月	カルヴィン神学校	大学院	博士課程	修了（神学博士、Ph. D.）

職歴

日本基督教団横浜指路教会伝道師（2003年4月～2006年3月）
カルヴィン神学校ティーチングアシスタント（2010年9月～2011年5月）
茨城キリスト教学園中学校・高等学校聖書科常勤講師（2014年4月～2015年3月）
北陸学院中学校高等学校聖書科主任（2015年4月～2019年3月）
北陸学院高等学校宗教課主任（2016年4月～2017年3月）
北陸学院高等学校宗教部長（2017年4月～2019年3月）
北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部 宗教主事・大学キリスト教センター長（2019年4月～）
北陸学院大学人間総合学部社会学科教授（2019年4月～）
北陸学院大学健康科学部栄養学科教授（2023年4月～）

学会等における活動・役職歴

1) 現在所属している学会：日本基督教学会、日本ピューリタニズム学会、キリスト教史学会

社会貢献・活動

1) 地域諸教会説教奉仕

学内における貢献(主な役職、委員会、その他)

業績

*共著者も明記のこと

著書・教科書

1) なし

翻訳

1) A. ファン・リューラー『キリスト教会と旧約聖書』（教文館、2007年）。

事典項目

- 1) "Covenant," "Resolutions (project)," "Farewell sermon (1750)," "Earthquake"
The Jonathan Edwards Encyclopedia (Grand Rapids: Eerdmans, 2017).
- 2) 「契約」『新・組織神学事典』(東京神学大学神学会、2018年)所収。

教材

なし

研究報告書

- 1) なし

研究論文

- 1) 矢澤励太「パウル・ティリッヒにおける聖霊論—その神論との対応関係を巡って」『神学』第65号(東京神学大学神学会、2003年)、185-204頁。
- 2) 矢澤励太「文化と信仰—リヒャルト・クローナーにおける「信仰の哲学」〈Philosophy of Faith〉の試み」『紀要』第7号(東京神学大学総合研究所、2004年)、167-181頁。
- 3) 矢澤励太「ジョナサン・エドワーズにおける三位一体論：『神性の繰り返し』としての三位格」『紀要』第8号(東京神学大学総合研究所、2005年)、191-208頁。
- 4) 矢澤励太「ジョナサン・エドワーズにおけるキリストと神の国」『紀要』第9号(東京神学大学総合研究所、2006年)、167-184頁。
- 5) Reita Yazawa, "John Howe (1630-1705) on Divine Simplicity: A Debate over Spinozism," in *Church and School in Early Modern Protestantism*. Edited by Jordan Ballor, David Systma, and Jason Zuidema (Leiden: Brill, 2013), 629-640..
- 6) 矢澤励太「ジョナサン・エドワーズにおける救済の契約：内在的三位一体と経綸的三位一体の接点」『季刊教会』98号(日本基督教団・改革長老教会協議会・教会研究所、2015年2月)、20-28頁。
- 7) 矢澤励太「ジョナサン・エドワーズは汎在神論者か？」『北陸学院大学・短期大学部研究紀要』第8号(2015)：345-356頁。
- 8) 矢澤励太「聖書科と道徳科—どこが同じで何が違うか？」『北陸学院大学・短期大学部研究紀要』第9号(2016)：153-165頁。
- 9) 矢澤励太「契約の神学—「贖いの契約」から「救済史」への展開」『北陸学院大学・短期大学部研究紀要』第10号(2017)：135-144頁。
- 10) 矢澤励太「ジョナサン・エドワーズにおける国家契約(National Covenant)—アメリカ的慨嘆歌(Jeremiad)という神学的社会倫理基盤—」『北陸学院大学・短期大学部研究紀要』第11号(2018)：141-151頁。
- 11) 矢澤励太「『大学の神学』再訪—組織神学としての教育の神学—[倫理学篇]」『北陸学院大学・短期大学部研究紀要』第12号(2019)：77-88頁。
- 12) 矢澤励太「『キリスト教教育』とOECD『教育とスキルの未来 2030』」『教職課程研究』第7号(2020年)：95-100頁。
- 13) 矢澤励太「『大学の神学』再訪—組織神学としての『教育の神学』[弁証学篇]」『北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要』第13号(2021)：103-114頁。
- 14) 矢澤励太「SDGsと『シャローム』のビジョン—キリスト教神学からの創造論・終末論的アプローチ—」『教職課程研究』第8号(2021年)：99-104頁。

- 15) 矢澤励太「いのちの尊厳と神の似像論—相模原障がい者施設殺傷事件を巡るキリスト教神学からの応答—」『教職課程研究』第8号(2021年):105-110頁。
- 16) 矢澤励太「『大学の神学』再訪—組織神学としての『教育の神学』[教義学篇]」『北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要』第14号(2022):155-166頁。
- 17) 矢澤励太「プロレゴメナとしての組織神学の復権—ポストモダンにおける教義学の復権に向けて—」『北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要』第15号(2023):103-115頁。
- 18) 矢澤励太「SDGs とキリスト教人格教育との親和性—キリスト教サステナブル教育の視座—」『教職課程研究』第10号(2023年):105-112頁。
- 19) 矢澤励太「EQ(Emotional Quality)とキリスト教教育—礼拝共同体における社会情動的スキルの涵養—」『教職課程研究』第10号(2023年):113-120頁。

その他の著作

[書評]

- 1) ルーテル／ローマ・カトリック共同委員会訳『義認の教理に関する共同宣言』(教文館、2004年)。「季刊 教会」60号(2005年9月)所収。
- 2) ジョナサン・エドワーズ『原罪論』(新教出版社、2015年)。「ピューリタニズム研究」第10号(2016年)、71-72頁所収。

[礼拝奨励・随想・小文]

- 1) 「聖書・今日のいのり あなたはひとりではない」『婦人之友』(2013年10月)所収
- 2) 「わたしはあなたと共にいる」『チャペル奨励集』第12集(茨城キリスト教大学:学園キリスト教センター、2015年)、12-18頁(学園教職員礼拝2015年2月27日における奨励)。
- 3) 「聖書・今日のいのり ミッションに生かす神」『婦人之友』(2018年3月)所収
- 4) 「世界はキリストのもの—アメリカ・キリスト教大学における新しい動き—」『季刊 教会』第122号(2021):66-67頁

研究発表

- 1) 「ジョナサン・エドワーズにおける三位一体論—『神性の繰り返し』としての三位格」日本基督教学会第52回学術大会における発表、東京女子大学、2004年10月
- 2) “Jonathan Edwards and Petrus van Mastricht: An Inheritance of the Covenant of Redemption.” The International Edwards Conference, 国際基督教大学、2016年3月
- 3) 「ジョナサン・エドワーズとジョン・ギル—『贖いの契約』における聖霊の位置と役割を巡って」キリスト教史学会第70回学術大会における発表、上智大学、2019年9月14日
- 4) 「ヨハネス・コッツェーユスにおける契約神学—『贖いの契約』の教理的意味を巡って—」日本基督教学会(オンライン)2022年3月17日(木)

講演

- 1) 「キリストの香りを運んで:北陸学院と教会に与えられたジョイント・ミッション」石川地区教会役員研修会 白銀教会 2019年2月
- 2) 「グローバル化時代のキリスト教教育—『OECD Education 2030』との関わりで」北陸学院創立134周年記念教職員研修会 北陸学院番匠鐵雄記念礼拝堂 2019年9月7日
- 3) 北陸学院大学人間総合学部社会学科 オータム・セミナー主題講演:「社会の中で生きる—キリスト教人間観に基づくキャリア形成の道—」(講演動画配信)(2021年11月17日)

論文査読

- 1) Gilsun Ryu, “Jonathan Edwards’ Federal Theology in Exegetical Perspective: The Doctrinal Harmony of Scripture as a Framework for Interpreting the History of Redemption” (Ph. D. dissertation: Trinity Evangelical Divinity School, 2019). [Reader Report for Lexham Press submitted on September 13, 2019]

特殊な専門技能による業績

なし

研究助成・科研費等

なし